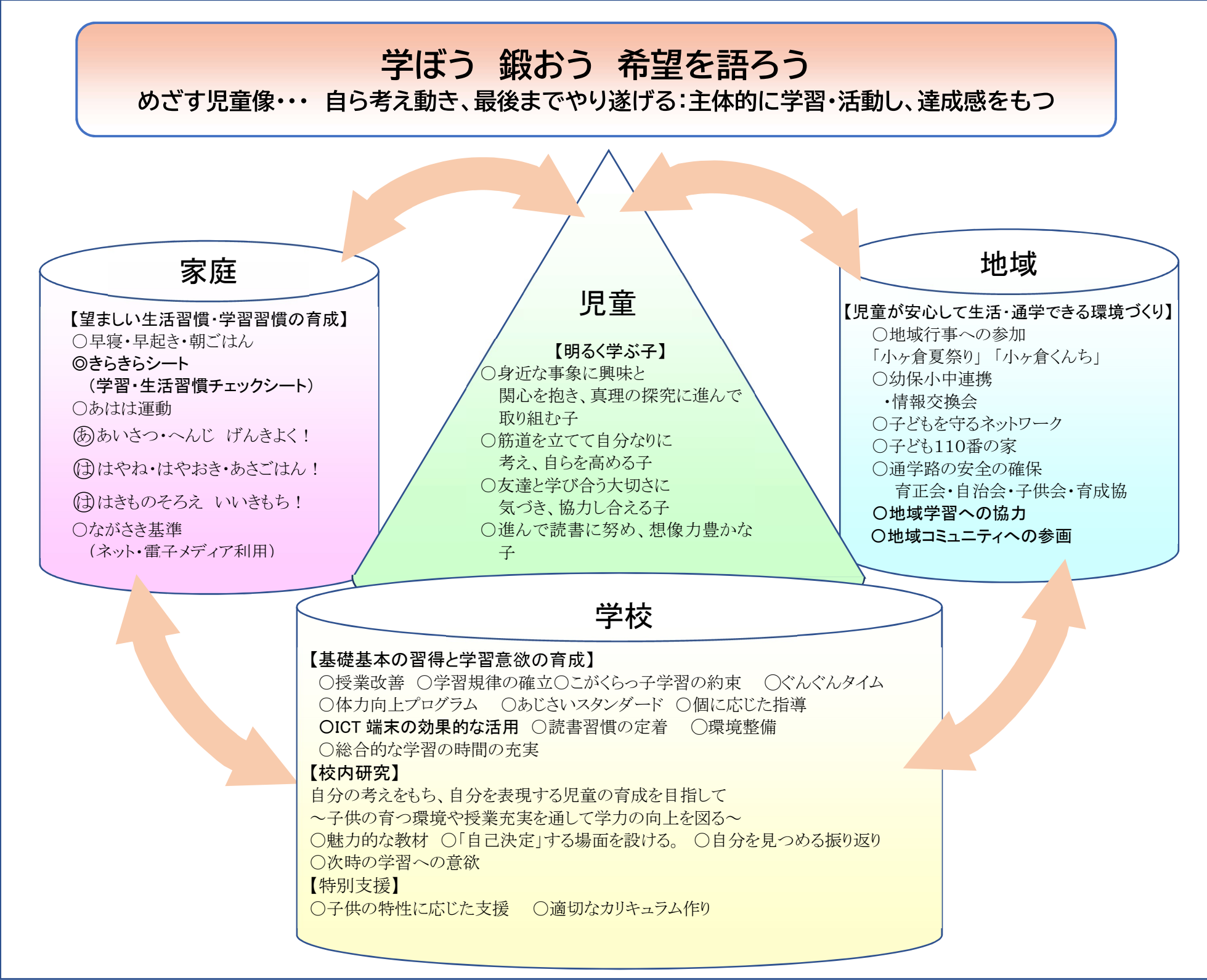


令和6年度 長崎市立小ヶ倉小学校 学力向上プラン

1. 全体図



2. 重点目標

- 児童自ら目標を決め、変容や成長を促し、全国学力・学習状況調査で全国平均を、県学力調査で県平均を、市学力調査で市平均を上回る。
- 授業改善に努め、市販テストの年度末のまとめにおいて全学年が平均点90点以上を達成する。

3. 学びに向かう力の構築

自分の考えをもつ子	自分を表現する子	学力向上のために
○基礎基本の定着を図る ○補充的な学習の充実(発展的な学習、自主学習等) ○各教科における「書く活動」「対話的思考活動」の充実 ○「個別最適化された学習」を目指した授業の充実 ○体験や交流を重視した生活科・総合的な学習の充実 ○読書活動の充実と学校図書館の活用 ↓ ○自分なりの問いを立てる子 ○自分なりのやり方で課題解決に向かう子 ○新たな課題を見いだす子	○各教科において、「対話活動」の充実を図る ○相手や自分を尊重しながら、対話活動に取り組む授業 ○自分の思いを伝えることに価値を見出せる授業の展開 ○学年の実態や学習内容に応じて子供自身が目的をもって内容や方法を選択できる授業 ○ICTを活用した表現の場を設ける ○児童会活動において話し合わせるなどの表現の場を設ける ↓ ○自分の考えを伝える子 ○相手の考えを聞き、質問できる子 ○新たな考えを表現できる子	○学習のめあてに対するまとめと振り返りを確実にに行い、時間ごとに完結する授業の充実に努める ○分かりやすい授業づくりのための校内研修を実施し、全職員が授業力の向上に努める ○「Canva」の活用を中心とした ICT を用いての授業改善を行う ○ICTを用いた思考表現力の向上をめざし、論理的思考力を育てる。 ○読み・書き・計算など、基礎的な事項の定着を図るための学習を充実させる ○実験や体験、操作活動などを重視し、自分で考え表現する学習を充実させる ○「きらきらシート」、「Qubena」を活用し、規則正しい生活態度の育成と家庭学習への自主的な取組を推進する